

荻野吟子 女性医師の道を切り開け

「荻野吟子 “女性医師” の道を切り開け!」
医師は男性になるものされていた明治時代、恥ずかしい思いをした自らの受診経験から、「女性のからだは、女性が診るべき」と立ち上がった荻野吟子。多くの壁にぶつかりながらも、不屈の決意で自らを奮い立たせ、女性として初めて開業試験に合格。女性医師第一号となった。その後、女性の新たな生き方を模索し、さまざまな社会的活動に身を投じていく…。数々の困難を乗り越えてきた吟子の知恵を読み解いていく。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00～22:45)

最初の結婚

慶応 4 年（1868）、吟子が 17 歳になる年に、埼玉郡上川上村（現熊谷市上川上）の名主稲村家の長男、に嫁ぐことになりました。貫一郎は、熊谷のために多くの功績を挙げた人物です。吟子と貫一郎の結婚は、長くは続きませんでした。吟子が病気にかかり、実家での療養を余儀なくされたのです。そして、明治 3 年（1870）、協議離婚となりました。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00～22:45)

最初の結婚

慶応 4 年（1868）、吟子が 17 歳になる年に、埼玉郡上川上村（現熊谷市上川上）の名主稲村家の長男、に嫁ぐことになりました。貫一郎は、熊谷のために多くの功績を挙げた人物です。吟子と貫一郎の結婚は、長くは続きませんでした。吟子が病気にかかり、実家での療養を余儀なくされたのです。そして、明治 3 年（1870）、協議離婚となりました。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00～22:45)

女医への決意

明治3年(1870)、吟子は病気で協議離婚(19歳)、大学東校(現 東京大学医学部)の付属病院に入院することになりました。男性の医師に診察される経験に羞恥と屈辱を覚え、女医の必要性を痛感し、吟子自身が女医となる決意をしました。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00～22:45)

先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00～22:45)

荻野吟子 女性医師の道を切り開け

女医への決意

明治3年(1870)、吟子は病気で協議離婚(19歳)、大学東校(現 東京大学医学部)の付属病院に入院することになりました。男性の医師に診察される経験に羞恥と屈辱を覚え、女医の必要性を痛感し、吟子自身が女医となる決意をしました。



先人たちの底力 知恵泉(ちえいず)「荻野吟子“女性医師”の道」。(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00~22:45)

女子教育の道へ

明治6年(1873) 学問を修めるため 22 歳で上京します。まず、国学者であり、 かつ皇漢医である井上頼の私塾神習舎に入ります。この時、奥原西湖の協力があったようです。奥原晴湖は日本を代表する女流南画家、戊辰戦争の難を逃れるため、稲村家に仮寓していました。晴湖との出会いは、吟子の人生に大きな影響を与えたようで、吟子は上京時に、晴湖のように男装したとも伝えられます。



先人たちの底力 知恵泉(ちえいず)「荻野吟子“女性医師”の道」。(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00~22:45)

女子教育の道へ

明治6年(1873) 学問を修めるため 22 歳で上京します。まず、国学者であり、 かつ皇漢医である井上頼の私塾神習舎に入ります。この時、奥原西湖の協力があったようです。奥原晴湖は日本を代表する女流南画家、戊辰戦争の難を逃れるため、稲村家に仮寓していました。晴湖との出会いは、吟子の人生に大きな影響を与えたようで、吟子は上京時に、晴湖のように男装したとも伝えられます。



先人たちの底力 知恵泉(ちえいず)「荻野吟子“女性医師”の道」。(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00~22:45)

女子教育の道へ

明治6年(1873) 学問を修めるため 22 歳で上京します。まず、国学者であり、 かつ皇漢医である井上頼の私塾神習舎に入ります。頼は、後に国学の大家となる人物です。吟子の和歌の力は師も越えると称されるほどに、高い教養を身につけています。



先人たちの底力 知恵泉(ちえいず)「荻野吟子“女性医師”の道」。(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00~22:45)

先人たちの底力 知恵泉(ちえいず)「荻野吟子“女性医師”の道」。(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00~22:45)

荻野吟子 女性医師の道を切り開け

女子高等師範学校で学ぶ

吟子は、女子高等師範学校（現 お茶の水女子大学）で学ぶことを選び、第1期生として合格します。第1回入学者 74 名のうち、第1回目の試験で卒業できたのは15 名でした。吟子は、おそらく病で帰郷せざるを得ず、試験を受けることができませんでした。半年後の明治12 年（1879）7 月 10 日、28 歳の吟子は、第2回目の試験で卒業しています。このとき卒業できたのは、わずか 18 名でした。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00～22:45)

女子高等師範学校で学ぶ

吟子は、女子高等師範学校（現 お茶の水女子大学）で学ぶことを選び、第1期生として合格します。第1回入学者 74 名のうち、第1回目の試験で卒業できたのは15 名でした。吟子は、おそらく病で帰郷せざるを得ず、試験を受けることができませんでした。半年後の明治12 年（1879）7 月 10 日、28 歳の吟子は、第2回目の試験で卒業しています。このとき卒業できたのは、わずか 18 名でした。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00～22:45)

医術を学ぶ

女子高等師範学校幹事の「永井久一郎」教授は陸軍軍医總監や赤十字社長となる医学界の重鎮「石黒忠恵」を紹介しました。吟子は自分の考えをまとめたものを携えて石黒と面会します。石黒は吟子のために尽力し、知人の宮内省侍医・高階経徳が経営している『医学校好寿院』への入学が許可されました。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00～22:45)

不屈の請願

吟子は、石黒忠恵の助けを求めます。石黒は内務省衛生局長の長与専高に面会して「女が医者になってはいけない」という条文がない以上は、受けさせて及第すれば開業させるべきではないかとかけあいました。高島嘉右衛門も吟子を助けます。井上頼に頼んで、日本の古代にも女医がいた文献『令義解』があることを資料にし、紹介状に添えたともいわれています。

長与は、医学を修得しているのだから受験を許可してもよいとの考えでした。ようやく、女性の受験が認められたのでした。

“女性医師”の道を切り開け!
荻野吟子

先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00～22:45)

荻野吟子 女性医師の道を切り開け

医術を学ぶ

女子高等師範学校幹事の「永井久一郎」教授は陸軍軍医総監や赤十字社長となる医学界の重鎮「石黒忠恵」を紹介しました。吟子は自分の考えをまとめたものを携えて石黒と面会します。石黒は吟子のために尽力し、知人の宮内省侍医・高階経徳が経営している『医学校好寿院』への入学が許可されました。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00~22:45)

不屈の請願

吟子は明治15年（1882）6月、東京府に医術開業試験の願書を提出しましたが、8月に却下されました。翌16年、再び願書を提出しますがこれも却下、9月に今度は埼玉県に提出しますが却下、内務省にも提出しますが、これも却下されたのです。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00~22:45)

不屈の請願

吟子は明治15年（1882）6月、東京府に医術開業試験の願書を提出しましたが、8月に却下されました。翌16年、再び願書を提出しますがこれも却下、9月に今度は埼玉県に提出しますが却下、内務省にも提出しますが、これも却下されたのです。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00~22:45)

不屈の請願

吟子は、石黒忠恵の助けを求めます。石黒は内務省衛生局長の長と専断に面会して「女が医者になってはいけない」という条文がない以上は、受けさせて及第すれば開業させるべきではないかとかけあいました。高島嘉右衛門も吟子を助けます。井上頼に頼んで、日本の古代にも女医がいた文献『令義解』があることを資料にし、紹介状に添えたともいわれています。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00~22:45)

荻野吟子 女性医師の道を切り開け

不屈の請願

吟子は、石黒忠恵の助けを求めます。石黒は内務省衛生局長の長与専斎に面会して「女が医者になってはいけない」という条文がない以上は、受けさせて及第すれば開業させるべきではないかとかけあいました。高島嘉右衛門も吟子を助けます。井上頼に頼んで、日本の古代にも女医がいた文献『令義解』があることを資料にし、紹介状に添えたともいわれています。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00～22:45)

不屈の請願

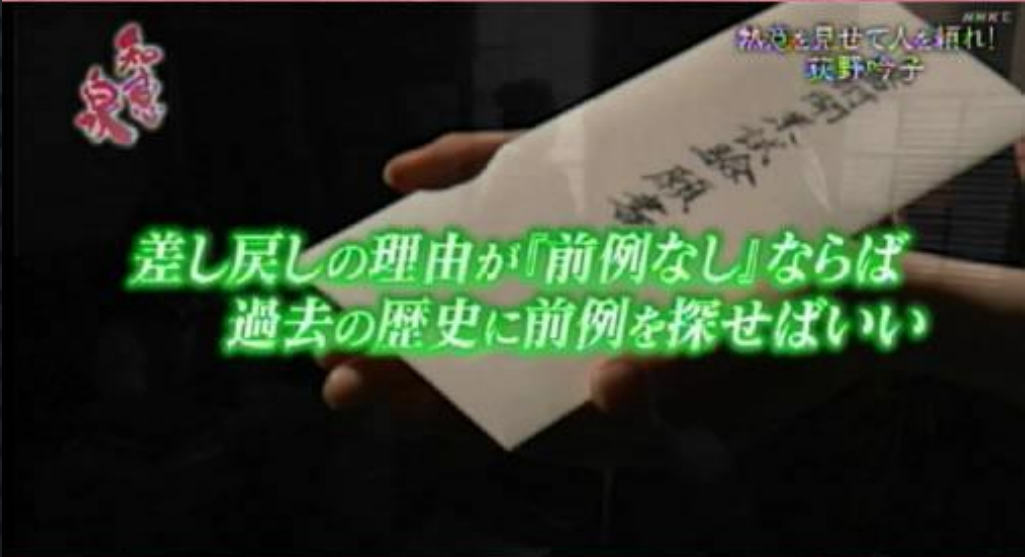
吟子は明治15年（1882）6月、東京府に医術開業試験の願書を提出しましたが、8月に却下されました。翌16年、再び願書を提出しますがこれも却下、9月に今度は埼玉県に提出しますが却下、内務省にも提出しますが、これも却下されたのです。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00～22:45)

不屈の請願

吟子は、石黒忠恵の助けを求めます。石黒は内務省衛生局長の長与専斎に面会して「女が医者になってはいけない」という条文がない以上は、受けさせて及第すれば開業させるべきではないかとかけあいました。高島嘉右衛門も吟子を助けます。井上頼に頼んで、日本の古代にも女医がいた文献『令義解』があることを資料にし、紹介状に添えたともいわれています。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00～22:45)

不屈の請願

吟子は、石黒忠恵の助けを求めます。石黒は内務省衛生局長の長与専斎に面会して「女が医者になってはいけない」という条文がない以上は、受けさせて及第すれば開業させるべきではないかとかけあいました。高島嘉右衛門も吟子を助けます。井上頼に頼んで、日本の古代にも女医がいた文献『令義解』があることを資料にし、紹介状に添えたともいわれています。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00～22:45)

荻野吟子 女性医師の道を切り開け

キリスト教入信と社会運動

明治 19 年(1886)には、当時の女性社会運動の中心であった東京婦人矯風会（後の日本キリスト教婦人矯風会）の風俗部長となりました。特に廃娼運動に熱心に取り組み、大演説会を開催しています。このほかにも、吟子は女性の権利を向上させるため先頭に立って活動を行っていました。明治20年(1887)には大日本婦人衛生会を設立しています。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00~22:45)

キリスト教入信と社会運動

明治 19 年(1886)には、当時の女性社会運動の中心であった東京婦人矯風会（後の日本キリスト教婦人矯風会）の風俗部長となりました。特に廃娼運動に熱心に取り組み、大演説会を開催しています。このほかにも、吟子は女性の権利を向上させるため先頭に立って活動を行っていました。明治20年(1887)には大日本婦人衛生会を設立しています。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00~22:45)

キリスト教入信と社会運動

明治 19 年(1886)には、当時の女性社会運動の中心であった東京婦人矯風会（後の日本キリスト教婦人矯風会）の風俗部長となりました。特に廃娼運動に熱心に取り組み、大演説会を開催しています。このほかにも、吟子は女性の権利を向上させるため先頭に立って活動を行っていました。明治20年(1887)には大日本婦人衛生会を設立しています。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00~22:45)

キリスト教入信と社会運動

明治 19 年(1886)には、当時の女性社会運動の中心であった東京婦人矯風会（後の日本キリスト教婦人矯風会）の風俗部長となりました。特に廃娼運動に熱心に取り組み、大演説会を開催しています。このほかにも、吟子は女性の権利を向上させるため先頭に立って活動を行っていました。明治20年(1887)には大日本婦人衛生会を設立しています。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00~22:45)

荻野吟子 女性医師の道を切り開け

キリスト教入信と社会運動

明治 19年(1886)には、当時の女性社会運動の中心であった東京婦人矯風会（後の日本キリスト教婦人矯風会）の風俗部長となりました。特に廃娼運動に熱心に取り組み、大演説会を開催しています。このほかにも、吟子は女性の権利を向上させるため先頭に立って活動を行っていました。明治20年(1887)には大日本婦人衛生会を設立しています。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00～22:45)

キリスト教入信と社会運動

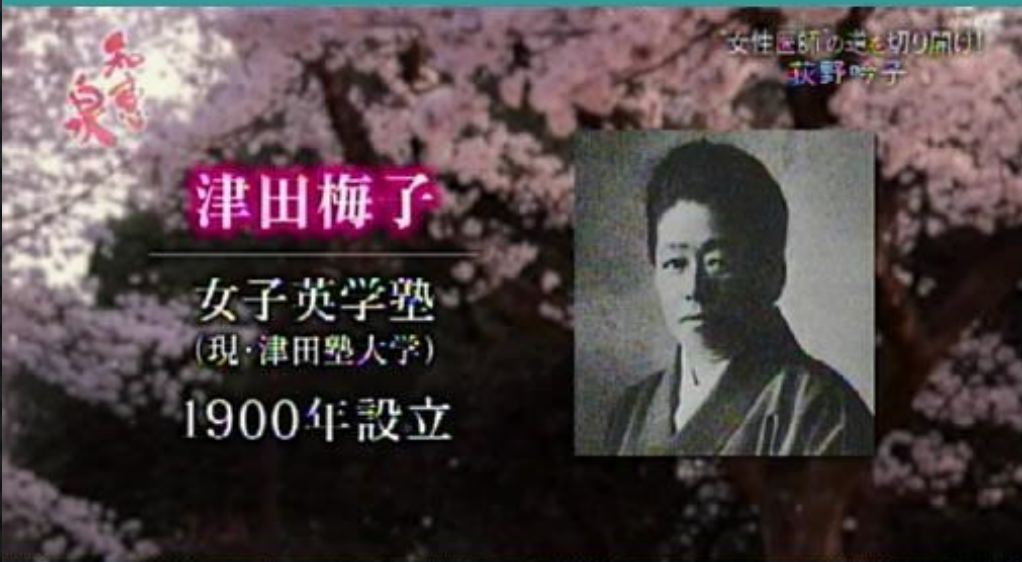
女子教育に大きく影響を与えた巖本善治の招きで明治女学校の生理・衛生の講師ならびに 校医になっています。さらに、当時、女医の必要性についての議論が盛んに行われていましたが、明治25年(1892)に論文を発表し、女医の必要性、ならびに大学的女子への門戸開放と医学部を備えた女子大学の 設立を訴えています。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00～22:45)

キリスト教入信と社会運動

女子教育に大きく影響を与えた巖本善治の招きで明治女学校の生理・衛生の講師ならびに 校医になっています。さらに、当時、女医の必要性についての議論が盛んに行われていましたが、明治25年(1892)に論文を発表し、女医の必要性、ならびに大学的女子への門戸開放と医学部を備えた女子大学の 設立を訴えています。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00～22:45)

キリスト教入信と社会運動

女子教育に大きく影響を与えた巖本善治の招きで明治女学校の生理・衛生の講師ならびに 校医になっています。さらに、当時、女医の必要性についての議論が盛んに行われていましたが、明治25年(1892)に論文を発表し、女医の必要性、ならびに大学的女子への門戸開放と医学部を備えた女子大学の 設立を訴えています。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子 “女性医師” の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00～22:45)

荻野吟子 女性医師の道を切り開け

日本最初の女医の誕生

明治17年(1884)の内務省医術開業試験では、女性からの願書がついに受理されました。吟子は必死に受験勉強をしていたことにより、女性で唯一の合格者、医籍登録され、ここに日本最初の公認された女医、日本最初の女医の荻野吟子が誕生したのです。そして、本郷三組町に産婦人科荻野医院を開業する。



私はただ未踏の女性の医者になり
その道をこれから
医者の道を進もうとする
あとから来る女性達に
つなげていきたいだけの
「女学雑誌」より

先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子“女性医師”の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00~22:45)

北海道インマヌエルから瀬棚へ

明治29(1896)年 吟子46歳、理想郷建設の夢を打ち砕かれた志方と吟子は、インマヌエルを去りました。その後、吟子と志方は、北海道南部の港町、せたな町に移り住みます…志方は北海道の地で牧師としてキリスト教を広める活動を始めます。



先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子“女性医師”の道」。
(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00~22:45)

医師は男性になるものされていた明治時代、恥ずかしい思いをした自らの受診経験から、「女性のからだは、女性が診るべき」と立ち上がった荻野吟子。多くの壁にぶつかりながらも、不屈の決意で自らを奮い立たせ、女性として初めて開業試験に合格。女性医師第一号となった。その後も、女性の新たな生き方を模索し、さまざまな社会的活動に身を投じていく…。数々の困難を乗り越えてきた吟子の知恵を読み解いていく。

先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）「荻野吟子“女性医師”の道」。(NHK Eテレ・東京 3月23日(火) 22:00~22:45)